

H24年度 主要事業実績

事業名	事業費	事業内容
1. 委託事業	円	
1) 稚魚河川放流委託事業	51,290,000 (内県費; 3,000千円)	・ 宮崎県の委託を受け、県内5大河川及び14中小河川にアユ8,580kg、ヤマメ429千尾、シジミ3,500kgを放流した。
2) 内水面振興センター委託事業	6,500,000	・ (財)宮崎県内水面振興センターの委託を受け、アユ915kg(大淀川、一ツ瀬川水系6漁協他)、ウナギ220kg(17漁協他)を放流するとともに一般県民・小中学生を対象(約1,670名)に適正な内水面利用について啓発、指導を実施した。
小計	56,790,000	
2. 国、県補助事業		
1) 漁業経営指導等対策事業	4,300,000	・ 常例検査、一斉調査等とおして傘下の内水面漁協の運営指導や組織整備、経営管理指導等を強化することにより、健全な組合運営の確保を図り、漁協本来の資源や漁場の管理機能強化や河川を憩いの場として求める社会的な要求に対応した。
2) 河川流域振興活動実践事業	3,572,211	・ 地域住民や内水面利用者に対し、内水面における水産資源の維持培養・環境保全・適正な利用に対する実践活動(体験学習、釣り教室他;延べ38漁協、約4,536名)、知識の啓発普及を行うとともに、漁業者等が実施するアユ産卵場の造成(5水系8漁協で11ヶ所、10,940㎡)、魚道改修(粗石斜階式、河床整備、竹梯子型水流抑制;2水系2漁協)等内水面漁業の健全な発展と流域の振興を図った。
3) 外来魚被害防除対策事業	727,464	・ 在来の生態系や放流等増殖事業に影響が懸念されるブラックバス等の駆除対策を大淀川の岩瀬ダム(刺網)、御池(釣り大会)、大瀬川(刺網)や金堂ヶ池(釣り大会)では地域団体と協働で実施し、生態系保全と資源の繁殖保護を図るとともに、一般県民への普及啓発を図った。
4) カワウ広域・緊急対策事業	503,570	・ カワウ被害の軽減を図るため、5水系の9漁協でカワウの飛来状況の把握や、銃器によるカワウ駆除(121羽)対策を行った。
小計	9,103,245	
合計	65,893,245	

平成24年度河川流域振興活動実践事業

区分	水系	漁協	実施時期	実施対象	人数	稚魚	パンフレット 手配ぐい
体験学習	大淀川	国高	4/26, 5/17, 5/18	本庄小・八代小・森永小各4年102名、教員他18名	120	10 kg	120
	大淀川	綾	7/6	綾小4年61名、教員他18名	79	12 kg	90
	耳川	西郷	5/29	田代小3、4年36名教員3	39	10 kg	40
	小丸川	小丸川	8/20, 21	木城小45名・高鍋小115名・教員他28名	186	12 kg	200
	小丸川	上小丸川	5/10	幼稚園9名、小学生1-2年19名教員他8名	36	10 kg	38
	善田川	串間市淡水	7/29	福島小3年35名、教員父兄他35名	70	12 kg	60
	耳川	椎葉村	8/30	不土野小5名、草川小2名、幼児4名、教員他15名	26	12 kg	30
	五ヶ瀬川	延岡五ヶ瀬川	8/12	地区児童100名、父兄他100名	200	12 kg	250
	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	9/7	南方小6年138名、教員他4名	142	12 kg	150
	加江田川	木花内水面	10/11	木花幼稚園48名、教員4名	52	10 kg	55
	塩見川	宮島河川	11/16	日知屋小4年34名、教員他8名	42	17 kg	45
	耳川	美幸内水面	6/8	美々津小3年12名、教員他9名	21	10 kg	20
	一ツ瀬川	新佐	11/7	広瀬小133名	133	17 kg	155
	川内川	川内川上流	11/9	真幸小38名、教員他9名	47	17 kg	50
	大淀川	都城淡水	7/29	安久小、沖水小、志和池小215名父兄他90名	305	12 kg	310
大淀川	小林高原野尻	8/20	永久津小25名、父兄他6名	31	12 kg	38	
計					1,529名	197 kg	1,651
釣り教室・釣り大会	名貫川	名貫川淡水	5/6	地区子供164名、大人153名	317		200
	大淀川	高岡川	7/29	高岡小20名、父兄他20名	40		55
	小丸川	小丸川	9/2	地区児童100名、父兄他84名	184		200
	一ツ瀬川	一ツ瀬川	8/18	幼児・徳北小92名 教員68他	160		130
	耳川	椎葉村	8/21	大川内小・椎葉中18名、父兄教員他20名	38		50
	一ツ瀬川	西米良	8/17	村所小31名、父兄14名	45		70
	清武川	清武川	8/18, 25	清武小57名、父兄他95名	152		110
	耳川	諸塚	8/19	村内外児童93名、父兄他159名	252		200
	五ヶ瀬川	西臼杵	7/29	押方小37名、父兄他38名	70		80
	大淀川	境川	7/28	田野小・七野小34名、父兄他52名	86		100
	五十鈴川	五十鈴川	11/7	門川小及び幼児4名、父兄他7名	11		15
	小丸川	上小丸川	8/15	南郷小中50名、父兄他30名	80		100
	福島川	串間市淡水	9/9	ツトアキアキ小中学生26名、父兄他25名	51		20
北川	北川	11/4	児童263名、一般314名	577		200	
計					2,063名		1,530
河川清掃	北川	北浦内水面	7/8	三川内中21名、教員他114名	135		250
	小丸川	小丸川	7/8	木城小・森一ツ少年団100名、商工会他200名	300		300
	祝子川	祝子川	7/16	黒岩小・中、延岡商業高50名、地区住民他95名	145	12 kg	200
	五十鈴川	五十鈴川	7/29	門川・五十鈴・北郷小11名、地区住民42名	53		65
	大淀川	小林高原野尻	7/28	東方小35名、父兄他16名	51		60
	福島川	串間市淡水	6/4	本城小1、3、4年25名、市木小5名、教員他20名	50		65
	加江田川	木花内水面	10/25	鏡洲小25名、父兄他10名	35		37
	清武川	境川	9/15	地区小学生38名、父兄他47名	85		100
計					854名	12 kg	1,057
その他イベント							
	延岡観光協会			河川清掃を兼ねた体験学習地区児童	90		
	大淀川学習館	5/13			9才	11 kg	7235kg
合計					4,536名	220 kg	4,238

第二 事業計画概要について

1 基本方針

本県の内水面を取り巻く現状は、これまでの治水、治山、利水事業が優先される中で河川形態の人工化が進み、併せてダム管理上の問題や森林の荒廃による河川流量の減少等抜本的な対策が喫緊の課題となっている。併せて、外来魚やカワウの被害、魚病の発生等生息環境の悪化や漁場生産力の低下、さらに、漁協組合員の減少と高齢化等により経営基盤の脆弱化や漁場管理機能が十分発揮されていない現状にある。

このため、内水面漁業の生産性の向上や親水性レクリエーションの場を提供する等総合的な地位の向上を図るべく、次の3項目を主体に推進する。

1) 水産資源の維持・増殖管理と秩序維持及び多面的機能の発揮

- イ 効果的な資源の増殖を図るため、生物の多様性等にも配慮した各種魚介類の優良種苗を適期に、適正な放流を実施する。また、ウナギについては半年間の採捕規制を継続しながら資源の復活を目指すものとする。
- ロ アユ等の産卵場造成や井堰等の魚道機能向上のため簡易な改修や河床の整備等を進める。また、河川・湖沼の生態系に重大な影響を及ぼす恐れがある外来魚やカワウの被害防止対策、魚病等の感染防止や監視対策等を推進する。
- ハ 内水面の多面的機能（河川清掃等の環境保全や釣教室等の漁村文化の継承等）を発揮するため地域組織、グループ等との協働による活動を支援する。
- ニ 遊漁者をはじめ一般県民に、資源の保護や漁場の有効利用、河川秩序の維持等を普及啓発すると共に、内水面の多面的な役割や機能向上について理解を深める。

2) 多自然型川づくりと河川の環境保全、再生の推進（流域圏団体等との連携強化）

- イ 河川の自然環境の保全を図るため、関係機関と連携し、生物資源維持流量の確保等魚や自然に優しい川づくり、生物の多様性に富んだ川づくりを推進する。
- ロ 河川工事や災害等による土砂崩れ、河床の埋没、林道・作業路工事や山林伐採等による環境の荒廃を防ぐ為に、「水を創る。」をキーワードに生態系と調和した環境整備対策について協議していく。
- ハ 森林の荒廃は、河川環境に著しい影響を及ぼしており、林業関係者・地域団体と密接に連携を取りながら森林の保全、再生に向け協議していく。
- ニ ダム濁水の長期化防止や河川維持流量の確保対策等については、ダム管理者等と協議していく。

3) 漁協の組織整備、経営基盤強化の推進

平成25年度の共同漁業権の免許、規則等の制定により、新たな漁場計画の内容に基づいて、内水面のあり方を協議しながら円滑な事業運営を推進する。

また、漁協の組織整備、経営基盤の強化を図るとともに、各水系の実態に対応した小規模連合会型の合併等も一つの方法として検討していく。さらに、県が実施する採捕実態調査等の精度の向上により、各種振興施策の推進に寄与する。

H25年度 主要事業計画概要 (案)

事業名	事業費	事業内容
1. 委託事業	円	
1) 河川放流委託事業	51,290,000 (内県費; 3,000千円)	・ 宮崎県の委託を受け、県内5大河川及び14中小河川にアユ、ヤマメ、シジミを放流し資源の増殖を図る。
2) 内水面振興センター委託事業	5,500,000	・ (財)内水面振興センターの委託を受け、アユ、ウナギを放流するとともに、一般県民・小中学生を対象に内水面活用を促進するための啓発・指導を行う。
小計	56,790,000	
2. 国、県補助事業		
1) 漁業経営指導 対策事業	4,300,000	・ 常例検査、一斉調査等をとおして傘下の内水面漁協の運営指導や組織整備、経営管理指導等を強化していく。漁協の健全な運営の確保を図り、漁協活動本来の資源・漁場管理機能の強化や県民が求めている憩いの場としての河川環境の保全等多面的な機能の向上を図る。
2) 生態系保全実践 活動事業 (内水面資源保護活動)	3,114,000	・ 地域住民、小中学生や内水面利用者に対し、河川における水産資源の維持培養・環境保全・適正な利用に対する実践活動や知識の啓発普及を行うとともに、漁業者等が実施する産卵場の造成(5水系7漁協)、魚道機能改修(3水系3漁協)等を実施し、内水面漁業の健全な発展と地域の振興を図る。
3) 外来魚被害防除 対策事業	660,000	・ 在来の生態系や放流事業等に影響が懸念されるブラックバス等外来魚の被害防除対策として、大淀川岩瀬ダムでの刺網等による駆除や、釣り大会(御池、五ヶ瀬川金堂ヶ池)による駆除を実施し、合せて一般県民への普及啓発を図る。
4) カワウ広域・緊急 対策事業	500,000	・ カワウによるアユ、オイカワ等の食害の軽減を図るため、北川、五ヶ瀬川、耳川、一ツ瀬川、大淀川、川内川の5水系8漁協でカワウの飛来状況の把握や銃器によるカワウ駆除対策を行う。
*水産の多面的機能 発揮対策事業?	(未定;別会計で 対応予定))	・ 内水面の多面的機能(清掃等の環境保全や釣教室等の漁村文化の継承活動他)の発揮に対して地域活動組織が実施する活動を支援する。
小計	8,574,000	
合計	65,364,000	

主要事業月間計画

行事及び事業	内 容	実施時期	備考
理 事 会	1 平成24年度の決算について 2 平成25年度の事業計画について	4月以降 (5回)	
監 事 会	1 平成24年度の決算の監査について 2 平成25年度の間接監査について	4月 11月	
総 会	1 平成24年度事業報告及び決算報告について 2 平成25年度事業計画等について	6月	
漁協役員等 研 修	漁業権切替え、自治監査及び決算、事業運営、 漁業法等に関する指導等について	7月 11月	
組合長会議	事業計画、要望、情報交換等について	9月 1月	
講 演 会	「川の外科医が行く！」 西日本科学技術研究所 所長 福留脩文氏	10月	
生態系保全 実践活動事業	啓発普及事業(釣り教室、体験学習、河川清掃) 実践活動推進事業(産卵場造成、魚道機能改修) 中小河川生物環境、井堰等実態調査	4月 ～ 3月	
外来魚被害 防止対策事業	ブラックバス等の外来魚駆除 (野尻湖、大瀬川；刺網、罟他) 県民釣り大会(御池、金堂ヶ池)	4月～ 10月	
カワウ広域・ 緊急対策事業	銃器によるカワウの駆除(8漁協)	4月～ 3月	
多面的機能 発揮対策事業	地域活動組織が清掃等の環境保全や釣り教室等の 漁村文化の継承活動で多面的機能を発揮	6月～ 11月	
放 流 事 業	組合の義務・自主放流及び県や内水面振興セン ターの委託による各魚介類の種苗放流を実施	4月～ 11月	
採捕実態調査	県が実施する内水面における採捕実態調査を支 援し、内水面振興の各種施策に活用	12月～ 3月	
需給調整会議	1、シラスウナギ需給調整対策協議会 2、海産稚アユ需給調整対策協議会	10月～ 2月	
関係団体連絡 会議、要望等	養鰻、養鮎、種苗斡旋業者等団体との連絡調整 情報交換及び県、関係機関等への陳情、要望	随時	
漁業経営、 管理指導	常例検査、一斉調査等による組合の運営及び決 算、各種事業推進等に関する指導	随時	
連 絡 調 整	県の各種指導に対する趣旨の徹底を図る。	随時	